

週報



国際ロータリー
第2560地区

2006~2007 年度
2006年7月24日 第1795回 本年度第3回

Sanjo Minami Rotary Club

2006~07年度
クラブ会報特別企画



あの人 あの時
永桶 栄資君

【出席率】 会員62名中52名

【先々週の出席率】91.23%

【ゲスト】 一年交換学生 阿部美聖さん(三条東高校) 阿部泰三様

【先週のメイクアップ】

7/13 加茂RCへ 天田 匡君 西巻克郎君 坂井範夫君

7/18 田上あじさいRCへ 飯山勝義君

7/21 吉田RCへ 吉井正孝君

7/23 会員増強セミナーへ 滝口恵介君

7/23 一年交換学生受入会議(新潟)へ 馬場一敏君 長谷川晴生君
丸山征夫君 鈴木 武君

会長挨拶

馬場 一敏 会長



挨拶致します。

1. 本日は、1年交換留学生の阿部美聖さんとお父様を迎えての例会となります。阿部さんの申込みから早いもので7ヶ月余りが経ち、来月8月13日出発となりました。事務手続きで地区の担当者と不手際がありましたが、国際奉仕委員長、青少年交換委員長、前会長幹事の他、担当の方々の尽力によりようやく送り出すことができます。

当クラブは、1997~98年度に1年交換留学生の派遣受入れをなした実績があります。関係者には大変でしたが、楽しい思い出となっていることと思います。

交換留学は、ロータリーの国際交流事業の一つのプログラムです。我々ロータリークラブは市内の高校にポスターを掲示して応募を求めています。なかなか応募がないという現状です。1年間留学してみたいと思う人は多々あると思います。しかし、現実に行動を起こす人はまだ日本では少数です。阿部美聖さんの決断と勇気には敬服します。留学を夢に英会話を学んできたと思います。実際に試し、英語、ドイツ語を学んで来て下さい。

最初は互いに辞書を引き、身振り手振りでの会話になると思います。我々受入ホームステイ先の家族も同様となりますが、楽しみにしております。

国際ロータリークラブ会長

第2560地区ガバナー

第4分区分アシスタントガバナー

会長 馬場 一敏

三条南ロータリー事務局

ウィリアム ビル ボイド [ニュージーランド]

中 條 耕 二 [三条北]

桑 原 寛 治 [加 茂]

幹 事 田 代 徳 太 郎 SAA 広 岡 豊 樹

〒 955-8666 三条市旭町2-5-10

TEL0256-35-3477 Fax0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp URL http://www.sanjo-minami.jp

本人と融け合って生活しているのを目にします。我がクラブの会員でも外国との取引のため往来しております。互いに理解する方法は、相手国に行くこと、相手を迎えることと思います。互いに往来することによって相互に生活習慣や考え方を理解できると信じます。

阿部さんは1年間ドイツで、高校生として貴重な体験をすることとなります。高校の仲間、ホームステイ先、世話クラブの会員及び家族と友好を深めて下さい。日本のこと、三条のことを伝えて下さい。1年後には色々な思い出をお土産に元気に帰って来て下さい。

2. 馬場信彦ガバナー・ノミニーの要請により7月18日顧問会議をもちました。ノミニーから今後の協力要請がなされましたが、当然、クラブでバックアップすることになります。ノミニーに地区役員三役を選んでいただき、その後、当クラブからの他の地区役員を選びたいとのことでした。ノミニーに意中の会員がいると思いますので、依頼された際は「NO」と言わないで協力して下さい。今後、ノミニーが活動しやすいように皆さんに協力をお願いします。

3. 本日は、会員増強委員長の卓話です。滝口さんに会員増強及び卓話をよろしくお願い申し上げ、挨拶を終わります。

幹事報告

田代 徳太郎 幹事

●柏崎東ロータリークラブより 創立40周年記念式典のご案内

日時 2006年 9月 9日(土) 11:00~14:00

会場 柏崎市産業文化会館

いってらっしゃい お元気で!

一年交換学生 阿部美聖さんが8月13日、留学先 ドイツに向けて出発されます。

(三条東高校2年 留学先: ドイツ1890地区)



今回、ドイツに留学させていただくことになった阿部美聖です。ドイツのハンブルグの近くのアーレンスブルグという所に行きます。13日に出発なので今準備を進めているところです。

私が留学しようと思った理由はいくつかあって、主な理由は外国で生活して言葉や文化を学ぶことです。英語以外の外国語も話せるようになりたいので、留学は大きなチャンスだと思います。他の理由として、日本を離れて外国にいと、外国と日本では考え方が違うし、物事を違う面から見るができると思ったからです。留学を通して自分の考え方の幅が広がれば良いと思います。

今まで準備を進めてきましたが、自分が留学できるのは、ロータリークラブの皆様の協力があるからです。本当にありがとうございます。ドイツで自分なりに頑張ってくださいと思うのでよろしくお願い致します。

表彰 米山功労者表彰

昨年度(佐藤栄祐会長)の特別寄付積立で26名の方が米山功労者になりました。

ご協力を深く感謝申し上げます。



第四回	田中正佐久君		
第二回	安達 裕君		
第一回	相田明雄君	船久保孝志君	馬場一敏君
	馬場信彦君	長谷川晴生君	石山荘一君
	丸山徹夫君	永桶栄資君	菑澤喜一郎君
	西野治邦君	野島廣一郎君	野水孝男君
	大原義弘君	大溪秀夫君	坂井範夫君
	坂本洋司君	佐々木常行君	佐藤 譲君
	佐藤嘉男君	白倉修三君	鈴木圀彦君
	竹山昭二君	吉田 衛君	吉井正孝君



ニコニコボックス

～ 7月24日 ¥21,000 今年度累計 ¥82,000 ～

- 馬場(一)君 1. 一年交換学生の阿部美聖さん、お父様、ようこそいらっしゃいました。
2. 滝口会員増強委員長、卓話よろしくお願ひします。
- 田代君 阿部美聖さん、ドイツで一年交換学生として頑張ってください。
永桶君 無事、7月8日に労災病院を退院しました。入院に際しましてはお見舞いをいただき有難うございました。僅かですが、感謝の気持ちをこめて。
- 坂本君 創立40周年の事業組織案が坪井実行委員長の下で出来上がりました。長丁場になりますが、是非成功に向けて、皆様方のご協力をお願いします。
- 滝口君 ヘタな卓話を聞いていただけるので感謝して、ボックスに協力。
鈴木(武)君 交換学生の阿部美聖さん、三条南クラブへようこそ！ドイツへは気をつけて行ってらして下さい。
坪井君 次年度、坂本会長の時は当クラブ創立40周年となります。その際の実行委員長を仰せつかりました。皆様のご協力をお願いします。
- 吉田(秀)君 7月10日の例会を欠席して、ペルーに行ってきました。空中都市 マチュピチュ、ナスカの地上絵、チチカカ湖の葦の浮島生活者、全て写真通り、4300mの標高も平気でした。
- 野島君 会員増強委員長の滝口さん、卓話ご苦労様です。
船久保君 滝口さん、卓話ご苦労様です。阿部美聖さん、ドイツ楽しんで来て下さい。
韭澤君 昨日、子丑会の「古希を祝う会」に同伴で出席。若い頃の写真を見て、当時を想い楽しんで来ました。
西野君 滝口さん、卓話ご苦労様です。BOXに協力致します。
岡村君、坂井君、西巻君、田中(悌)君 BOXに協力致します。
大溪君 BOXご協力有難うございました。

会員増強拡大月間

「会員増強拡大月間に寄せて」

会員増強委員長 滝口 恵介 君

この度、会員増強委員長として話をせよということでもあります。私がロータリーに入会したのは、平成14年10月7日です。アツと云う間に4年の月日が流れたわけです。その日の日記には、「仕事が無い。株急落、ダウ平均株価8,688円。バブル後の最安値、昭和58年から18年ぶりの安値……」。いい会に入れてもらった。この不況にもかかわらず皆さん全員ニコニコしていらっしゃる。それに毎週会うのはいい事だ。ロータリーソングを歌って、美味しい弁当を食べて、会費はちょっと高いが会社の経費で落としてもらえるし……」と日記に書いてありました。

さて、今回、会員増強委員長をやれとの事、はて……困った？ロータリーとは何なんだ？ どう説明したら入会してもらえるのか？ 人に声を掛けるには、ロータリーとは、と「ローリーの友」7月号を初めて読んでみました。「率先しよう」がウィリアムB. ボンドRI会長の今年のテーマであります。ロータリーが親睦、友情、それに世の中に役立つことを実行するという不変の価値を会員達が提供してきたことから始まり、誠実、他人に対する寛容の精神等々……宝石の様な素晴らしい言葉で一杯です。やはり世界の頂点に立つ人はすごいなあと思います。中條ガバナーは「進んで奉仕、友愛、感謝」、我らが南クラブの馬場会長は「参加して楽しもう」であります。



三条には南クラブの他にもう2クラブあります。どんな人が参加しているのか会員名簿を見ましたら、三条でこの人は

と言われるような人はほとんど参加していらっしゃる感じです。その上、東クラブが新しく加わり、ライオンズに入会されている人はだめなんだろう…と思うと、益々大変な事だと思うのです。

自分は坪井先生と丸山電機さんに誘われたのだが、何も説明されなかった。「タキ、ロータリーに入れや〜」と、ただそれだけだった様です。

今から三十数年前、青年会議所を作る時、友人が「タキ、お前も仲間に入れ」と言って来た。そのメンバーを見せてもらったら、当時お金持ちの坊ちゃんの集まりだとの話が耳に入っていました。これは一緒にやれない、お金も暇もないと思いました。当時、親父とおふくろと兄弟(家族全員)で台所と風呂場をつぶして、2間半、4間位の10坪にも満たない狭い場所で玄翁を作っていました。玄翁は、10数工程ある中で一番初めに穴を開ける、それが一番難しい。自分は、8人兄弟の長男だからそれを自分がやり、最後に親父が焼入をする。自分が先ず穴を開けなければ、全員の仕事が出来ない。とても青年会議所に入っても一緒について行けないと思い断ったのですが、彼曰く、「お前みたいな貧乏人でも頑張ればやっていけるという事を見せてくれ、そうすれば金持ちの坊ちゃんの集まりという噂もなくなる」と言うのです。そこで、「その言葉が気に入った。貧乏人の代表で参加させてもらおう」と入会を決めました。

確かに、時間的にも仕事の面でも厳しかったのですが、その後の自分の人生に大きくプラスになりました。人と人のお付き合いの中で勉強をさせてもらいました。新しい仕事をしていく時、あるいは市会、県会などに出て行く時、有形、無形の力となって今の自分があるのだと感じております。その友人に感謝しなければと思っております。

そうだ、ロータリーに誘うには、坪井先生や丸山電機さんの様に説明は要らないのだ、こんな素晴らしい人と友人になれるのだ。そして、それは人と人との信頼関係なのだと思うに至りました。

どうぞ皆さん、自分の周りを見て下さい。そして、ロータリーにとお願いしてみてください。

皆様方の情報を寄せていただきますことをお願いし、終わりと致します。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

I 真実か どうか

III 好意と友情を深めるか

II みんなに公平か

IV みんなのためになるか どうか